屋久島の魅力に迫る! その8

『 1 ケ月に35日 雨が降る!?』

屋久島は雨が異常に多い、「雨の島」 日本の年間降雨量は、

北海道・札幌・函館で 1,000mm前後。 東京・名古屋・大阪で 1,500~2,000 mm 屋久島の人里で 屋久杉の育つ山中では 7,000~10,000 mm なんと!愛知県の5倍!!

=5年分の雨が降ります。

もちろんダントツの、日本一。

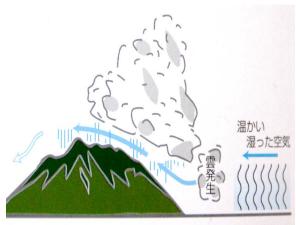


なぜ、雨が多いのか? 空中のダム

屋久島の海は水温が30℃にもなることもある黒潮です。亜熱帯の太陽に照らされて生 まれる水蒸気は大気の動きとして山肌を上り、巨大な積乱雲となって山上の空に蓄えら れるのです。屋久島の空にはダムが浮いているようなものです。これが上層の気象変化 (気温が下がる)によって雨となって落ちてきます。屋久島は太平洋と大陸の気団に挟 まれて前線がとどまることが多いうえ、台風シーズンには南の海から湿った空気が大量 に運びこまれます。

山々に降る大量の雨は森を育て、谷を削って滝となり、人々の暮らしをうるおして 海に注ぎます。そしてまた、太陽の恵みを得て、再び山上へと運ばれます。 屋久島ではこの「水の循環」を通した「自然の体系」が成り立っています。 この「水の循環」が、屋久島の森を育て「世界遺産の原生林」を維持させているのです。





代表取締役 八田欣也